

## 臓器摘出手術器械業者搬送システムを確立するためのシミュレーション

目的：COVID-19 流行期および、ポスト COVID-19 期の摘出チームの負担、人員削減を目的として臓器摘出手術器械業者搬送システムをシミュレーションする。

期間：2021年2月-未定

対象地域：愛知県および静岡県における腹部臓器摘出事例

概要：

- ・摘出チーム（腹部摘出チームのみ）の器材借用の要請に対して、藤田医科大学が所有する腹部摘出機材および消耗品を貸し出す。
- ・摘出チームはシミュレーション（器械の貸出、業者による搬送）に参加を希望する場合、その旨を研究班（藤田医科大学 伊藤）に連絡をする。
- ・UW液と滅菌氷、および臓器搬送用クーラーボックスはその対象ではない。
- ・消耗品内に手術用スクラブ、サンダル、マスク、帽子は含まれていない。（手術用滅菌ガウンは含まれている）
- ・機材は委託の日本ステリ社が搬送、提供病院先で基本的に摘出チームが受け取る。
- ・使用機材のカウントは摘出チームが責任をもって行う。
- ・機材使用後は摘出チームが付着血液を落とすところまで、流水にて洗浄、パッキング（スーツケース内に収める）までを行う。
- ・パッキング後の器材は基本的に摘出チームより、日本ステリ社に渡していただき、搬送される。  
※機材の受け渡しについては、事前に研究担当者（伊藤）、摘出チームと提供施設の3者で十分協議を行う。
- ・日本ステリ社は滅菌、梱包を行い、次回摘出に備える。
- ・搬送、滅菌、梱包、消耗品の費用はシミュレーションの際にはすべて令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金にて賄われる。
- ・本シミュレーション参加後、摘出チームには今後の改善を目的としたアンケートに回答していただく。
- ・本シミュレーションに関する詳細の問い合わせは以下とする。

連絡先：藤田医科大学 医学部 移植・再生医学 准教授 伊藤泰平  
080-5686-2003 または 090-5877-4843

# シミュレーションの流れ図

